

平成24年度 コミュニティパーク事業
応募団体・内容(要旨)

応募団体		あすか野自治会(1872世帯)	
公園名称		あすか野遊具の広場・あすか野森の広場・あすか野花の広場・あすか野南の緑道・あすか野北の緑道	
応募内容の要約	公園概況	公園面積	あすか野遊具の広場(2,929.56㎡)・あすか野森の広場(3,970.30㎡)・あすか野花の広場(2,067.00㎡) あすか野南の緑道(5,071.30㎡)・あすか野北の緑道(2,504.20㎡) 合計(16,542.36㎡)
		公園種別	街区公園(あすか野遊具の広場・あすか野森の広場・あすか野花の広場) 緑道(あすか野南の緑道・あすか野北の緑道)
		公園開設	昭和53年2月22日
		環境・地形・特徴	生駒山麓矢田丘陵北部東斜面の標高120m~200mに位置する。あすか野ニュータウンに属する。
	地域の連携	地域団体	あすか野自治会
		ワークショップ参加予定人数	40名
	公園の課題解決	公園の概要・問題点	問題点 公園開設後35年を経過し、樹木の衰えが眼に見えてきた。木の切り株が多く、根の張り出し、木質内部の腐食なども見られる。特に桜は病害虫や枝切りにより枯損化しつつある。また緑道の舗装も痛んでいる。 緑道及び公園に休憩の場としてのベンチが不足している。 見通しが悪い箇所があり、防犯対策上改良を要する。
		地域の皆さんの公園との関わり	南北緑道及び公園はバス停までの通り道、散歩道、子どもの遊び場、ペットの散歩道としてあすか野住民のほとんどが毎日のように利用し、憩いの場になっている。また災害時の一時避難場所としての役割も担っている。桜の季節には住民のみならず、老人施設などから車椅子で見物に来られる。近隣の幼稚園、保育園児の遊び場としても活用されている。 自治会として花のボランティア6グループによる年2回の花壇維持と整備活動、年4回住民による清掃、年3回の業者による草刈など公園の美化に努めている。 記載の主たるメンバーで2回集会をもち、公園の整備について意見交換をした。 自治会総会で24年度重点目標として「美しいふるさとづくりー桜祭り開催ー」をめざして桜植樹10年計画が可決された(参考資料)が、早期実現を望む声が高い。
	公園の育成	公園の施設などに対する希望	遊具の広場、森の広場、花の広場・南北緑道に様々な種類の桜苗木100本を植樹し、通り抜けて花見できるようにするとともに、座って花見ができるスペースやベンチを整備し、住民による桜祭りを開催したい。 公園内の樹木、花などに、名札をつけ、住民の樹木、花を愛する心を育てたい。 足の不自由な人の散歩道としても利用できるよう整備したい。
		公園の育成管理についての考え	自治会の一組織として公園の保護、整備のグループを立ち上げ、継続的に活動できる仕組みをつくる(仮称「桜を守る会」のメンバーが中心となる予定)。 小学校、幼稚園、保育園などと連携して公園における自然観察学習などを授業等に取り入れてもらう。 桜の植樹に関しては住民の記念植樹、里親制度も取り入れて管理する。
備考			

審査のポイント

地域連携...自治会を中心に、地域の方々が連携してワークショップに参加できる

公園の課題解決...既存公園の課題をふまえ、課題解決に取り組む意欲がある

公園の育成...公園をより良く利用し、管理等にも積極的に取り組む意欲がある

平成24年度 コミュニティパーク事業
応募団体・内容(要旨)

応募団体		鹿ノ台西3丁目自治会(369世帯)	
公園名称		鹿ノ台かしの木公園	
公園概況	公園面積	3,395.64㎡	
	公園種別	街区公園	
	公園開設	昭和53年5月23日	
	環境・地形・特徴	鹿ノ台住宅地の中にあり、近くに鹿ノ台配水場がある。植栽地と多目的広場の割合が半々位で水飲場があるのが特徴である。	
地域の連携	地域団体	鹿ノ台西3丁目自治会	
	ワークショップ参加予定人数	20名	
公園の課題解決	公園の概要・問題点	<p>比較的広い公園で、子供からお年寄りまで幅広く利用されている。</p> <p>問題点 子供のボール遊びと、お年寄りの区域の区分が無く、危険を感じる。 お年寄りの施設、きれいなベンチ等が無い。 水はけが悪く、ジメジメしている事が多い。 立木が大きくなりすぎて、近隣住宅の日当たりが悪くなっている。 花壇が無く、多少華やかさに欠ける。</p>	
	地域の皆さんの公園との関わり	<p>西地区の拠点公園で、常に多数の方が利用している。 一斉清掃等地域住民が、環境維持に関与している。 市役所の応援も頂いて、除草、立木の伐採等適宜おこなっている。</p>	
公園の育成	公園の施設などに対する希望	<p>基本的には、明るく、華やいだ公園に！！がキャッチフレーズです。 子供ゾーン、幼児・お年寄りゾーンを低木等で分離して欲しい。(子供の遊ぶ姿を安全に見守れる様な自然なゾーン分けを望みます) この地区は、急速な高齢化(65歳以上約40%程度)が進行しており、お年寄りが集う様な施設、例えば、お年寄り用ストレッチ運動が出来る様な遊具的な機材、円卓テーブル、ベンチ等、お年寄りが来たい公園に！！ 花壇等大幅に増やし、高齢者ボランティアの世話により、四季毎の花一杯公園にし、幼児・お年寄りゾーンには芝生広場等も設けたい。 多くなりすぎた、木立を選定して、明るい公園にしたい。 (参考資料)</p>	
	公園の育成管理についての考え	<p>基本的には、自治会の元気なお年寄りが中心になり、管理ボランティアGを結成致します。常に清掃も行き届いたきれいな公園に致します。 従来通り、市役所の応援も頂き、修繕、補修維持を、自治会主体で行います。 春夏秋冬に各一回程度は、公園内で何らかのイベントを企画を致します。(例えば、野外音楽会、ペット自慢会...等 住民の知恵で集う機会を積極的に創っていきます。)</p>	
備考			

審査のポイント

地域連携...自治会を中心に、地域の方々が連携してワークショップに参加できる

公園の課題解決...既存公園の課題をふまえ、課題解決に取り組む意欲がある

公園の育成...公園をより良く利用し、管理等にも積極的に取り組む意欲がある

平成24年度 コミュニティパーク事業
応募団体・内容(要旨)

応募団体		真弓1丁目自治会(326世帯)	
公園名称		真弓1丁目公園	
応募内容の要約	公園概況	公園面積	2,051.84㎡
		公園種別	街区公園
		公園開設	昭和52年2月2日
		環境・地形・特徴	真弓住宅地の中にあり、四方を道路に囲まれている。広場と遊戯広場に高さの変化(樹林で)をつけてある。
	地域の連携	地域団体	真弓1丁目自治会
		ワークショップ参加予定人数	30名 自治会・老人会(真寿美会)・子供会・ボランティアグループ(真弓1丁目見守り隊)・未就学児童の保護者・公園周辺の住民等。
	公園の課題解決	公園の概要・問題点	問題点 道路から公園内が見えにくく、閉鎖的な印象。気軽に入りづらい。 公園北側と南側に段差があり、隔離されている為、使い勝手が悪い。特に南側の広さが中途半端。 公園自体の魅力が乏しく、また公園の活用方法の仕組みが作られていない。そのため、利用者が少なく、せっかくの素晴らしい財産が生かされていない。
		地域の皆さんの公園との関わり	利用状況 少ない。幼児が遊具、砂場で遊ぶ。公園南側で児童がボール遊び。見守り隊が月1回サロンを開催。藤棚の下で歓談等。 管理状況 草刈等年4回(業者)、周辺清掃毎月1回(自治会)、花壇の手入れ(夏は毎日、それ以外は週2~3回)、その他砂場の管理、遊具の点検を適宜実施。
	公園の育成	公園の施設などに対する希望	公園北側は憩いとくつろぎ、幼児が安心して遊べる場所に。砂場の周辺を芝生にして、花壇を拡大する。北側に出入口を設置し、各出入口もスロープ化する。公園南側は、躍動、体力作りの場として、高齢者、学童の交流の場にする。グラウンドゴルフ等の練習、教室、体力作り等ができるように整地する。また、公園の垣根を開放感あるものに変更し、北側と南側の行き来をもっとしやすくする。ポプラの大きさをどうするかはワークショップで意見集約する。
		公園の育成管理についての考え	幼児の遊び場を通じて、未就学児童の保護者の交流の場にする。高齢者が憩える場として、交流をしやすくする。自治会、老人会、子供会、ボランティアグループ、公園周辺の住民等が随時意見交換する機会を整える。草刈、周辺清掃は、自治会主体で実施。花壇、砂場、遊具等の日常的な管理はボランティアが行う。サロンの開催等を持続的に行い、公園に集える機会を設ける。
備考	<p>補足説明：ワークショップと公園の活用を通じた街の活性化</p> <p>真弓1丁目は65歳以上が30%と高齢化が進んでいますが、時間があ、元気でやる気のある高齢者がたくさんいます。一方15歳未満の子供は15%ですが、学研北生駒駅に近く徒歩圏内にスーパー等があり利便性に優れています。また、小学校も近く自然環境にも恵まれていることから、若い家族が転入により増える傾向にあります。</p> <p>現在自治会を中心に、老人会(真寿美会)、子供会、ボランティアグループ(真弓1丁目見守り隊)等が活動していますが、組織間の交流はあまりなく、町内で出会っても挨拶や会話をしている人は限られているのが現状です。</p> <p>今回のワークショップの参加を通じて、自治会、老人会(真寿美会)、子供会、ボランティアグループ(真弓1丁目見守り隊)、未就学児童の保護者、公園周辺の住民等、参加した方々が横のつながりを密にし、一体感を作ってゆきたいと思います。そして、リニューアル後の公園の活用方法等を話し合う中で、その輪を広げ公園に集う様々な機会を作り、多くの住民が公園に足を向けてもらえるような魅力のある公園にしたいと思います。</p> <p>そして公園を核として、この街に住んでよかった、若い家族が魅力を感じるような街にしていきたいと考えています。</p>		

審査のポイント

地域連携...自治会を中心に、地域の方々が連携してワークショップに参加できる

公園の課題解決...既存公園の課題をふまえ、課題解決に取り組む意欲がある

公園の育成...公園をより良く利用し、管理等にも積極的に取り組む意欲がある

平成24年度 コミュニティパーク事業
応募団体・内容(要旨)

応募団体		東生駒南自治会(811世帯)	
公園名称		東生駒南第2公園	
公園概況	公園面積	7,619.76㎡	
	公園種別	街区公園	
	公園開設	昭和53年10月3日	
	環境・地形・特徴	当公園の北西側は児童遊園とし、西南側は運動広場とした。又、東側は緑地とし、池遊歩道を配置し、池の周囲はフェンス柵にて安全を講じた。	
地域の連携	地域団体	東生駒南自治会	
	ワークショップ参加予定人数	40名 東生駒南自治会役員会(プロジェクトチームを編成する。)・スポーツ部・老人会(むつみ会)・文化部・子ども会・小学校PTAなど全自治会の知恵を結集する。	
公園の課題解決	公園の概要・問題点	<p>問題点</p> <p>特色としては大きなため池があるが、池の周りは安全のためフェンスを張り巡らせてあり、清掃もままならず、夏場は藻が繁殖し悪臭が漂う時がある。せっかくの水資源が全く活用されていない。 通路の勾配が急なため、子どもや高齢者に負担が大きい。 時計、ベンチ、手すりなど、必要な設備が足りない。</p>	
	地域の皆さんの公園との関わり	<p>当自治体のほぼ中央にあり、自治会館とも隣接し、グランドエリア、遊具エリア、散策エリア、池で構成され、老若男女が集うもっとも利用率が高い公園である。(どの自治会員の自宅からも歩いてこられる)</p> <p>利用状況 多くの人が毎日の散歩コースに利用している。 グランドはゲートボールにほぼ毎日使われている。(他自治会の利用含) 年中行事として、餅つき大会、花見の宴、慶事の集いに利用されている。 子供みこしの出発地点である。 幼稚園の遠足にも利用されている。</p> <p>管理状況 年に2回、自治会員が集まって清掃を行っている。 年に2回、シルバー人材に依頼して草刈りを実施している。</p>	
公園の育成	公園の施設などに対する希望	<p>水資源を最適に活用するため、公園西側から東側に緩やかな「せせらぎ」を設け、幼児でも踝くらいまで水につかる事ができ、特に夏場の涼を取るのに、お年寄りも幼児も一緒に楽しめる「ふれ愛」の場としたい。 公園を中心に井戸端会議のある地域にしていきたい。 「井戸端会議の場を提供します！」 ・時計、ベンチ、荷物を置ける柵の設置 安心安全な砂場と、手足が洗える水呑場の設置。 車椅子や子供の一輪車などで散策可能な適正勾配への変更。 勾配を活かしての遊具。 デイサービスで来られる方、また高齢者が、リハビリ、体力作りに使えるリハビリゾーンを作る。手すり付き遊歩道。 藤棚(木漏れ日の中でゆっくり読書)</p>	
	公園の育成管理についての考え	<p>自治会スローガン；「ずっと住みたい、人に優しいこの街に」 このスローガン達成のシンボル事業として、自治会あげて強力に推進する。</p> <p>自治会館に設置予定の「太陽光発電」を活用し、水の循環・殺菌を行うなどして、サワガニ・ザリガニなどが生息できる環境を整備する。 いずれは、「ホテル」が自然孵化する自然公園を目指し、四季折々に憩うことができる、「絆公園」として、計画的に育成強化していきたい。 自治会館に隣接した最高のロケーションであるので、会館と連動した活動を行っていく。 (例) ・野点を開き、子どもにも体験できるようにする ・各世代が参加できる小さな運動会 ・ミニ菜園を作り、子どもといっしょに収穫する 災害時の災害本部としての利用について。 ・保管庫を準備し、テントを公園に備えておく ・太陽光発電による電力の確保など、自主防災プロジェクトの構想があり、リンクさせて考えたい。 ワークショップを継続し、改善とメンテナンスの体制を整える。 太陽光発電の活用で、維持管理費用の低減が可能。</p>	
備考			

審査のポイント

地域連携...自治会を中心に、地域の方々が連携してワークショップに参加できる

公園の課題解決...既存公園の課題をふまえ、課題解決に取り組む意欲がある

公園の育成...公園をより良く利用し、管理等にも積極的に取り組む意欲がある